

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	農業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	山崎岳志
評価者	農林部	部長	赤澤哲也

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市の根幹をなす農業とこれを担う魅力ある農村づくりを目指すため、平成23年度に安曇野市農業・農村振興基本計画を策定し、平成24年度に具体的な数値目標と実施施策を振興計画（アクションプラン）として策定しました。平成25年3月に安曇野市農業農村振興基本条例を制定し、同年8月に条例の規定に基づいて振興計画の実施状況の点検・評価並びに基本計画及び推進に必要な調査、提言が安曇野市農業農村振興基本計画推進委員会により行われています。現在は、令和4年度からの第3次農業・農村振興基本計画の策定の向け、第2次計画の検証などを行っています。
基本方針 (目指すべき方向性)	農業を基幹産業としてとらえ、農業の魅力を高め、担い手を確保・育成するとともに、農地の集積を図ることで、農業経営の効率化と安定化を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
認定農業者数	経営体	267	270	280	283	272	101.8	順調	農政課
集落営農組織数	組織	27	28	27	27	27	96.4	停滞	農政課

施策指標の進捗状況と分析	令和元年7月に国では「人・農地プランの実質化」を打ち出し、将来誰が地域の農地を担うのか、誰に農地を集約するのかを地域で決めるよう促している。これを受け市では経営意向アンケートを行い、地域での話し合いを進める予定であったが、コロナ禍により、地域との話し合いが進まなかった。 令和3年度以降においても、市内の認定農業者数や集落営農組織数の増のため、地域との話し合いは進めていく必要はある。 第2次農業・農村振興基本計画に掲げた実施施策203件のうち98%が着手・完了しており「概ね順調」と評価された。進捗が遅れている施策、数値目標の達成が伸び悩んでいるため、今後は、第3次計画策定に向け検証する中で、より実効性のある事業を検討し、実施計画に反映させる。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性		正規職員数
1	0106040	農業・農村計画事業	農業政策係	80,500	84,000	769,330	9,706,000	252,000	10,891,830	政策的業務	継続	B	事業の進め方の改善が必要	0.25	
2	0106050	農業振興地域整備促進事業	農業政策係	687,936	1,104,000	676,135			2,468,071	義務業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	2	
3	0106070	農業生産振興事業（市再生協事業）	生産振興担当	12,287,511	9,418,360	9,540,966	13,935,000	13,935,000	59,116,837	政策的業務	継続	B	事業の進め方の改善が必要	1.5	○
4	0106080	環境保全型農業推進支援事業	生産振興担当	1,035,200	1,162,700	1,813,500	1,221,000	1,235,000	6,467,400	政策的業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.4	
5	0106090	経営所得安定対策等推進事業	生産振興担当	17,674,000	16,713,000	18,756,000			53,143,000	定型業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.62	
6	0106110	苗箱薬剤購入補助事務	生産振興担当	13,309,655	8,921,438	4,323,366			26,554,459	政策的業務	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.2	
7	0106120	市農業振興作物等推進事業	生産振興担当	56,069,317	55,109,280	54,889,263	62,890,000	63,154,000	292,111,860	政策的業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.64	○
8	0106130	果樹生産農家支援事業	生産振興担当	15,827,460	11,298,945	11,457,081	13,114,000	12,738,000	64,435,486	政策的業務	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.4	
9	0106140	そ菜価格安定共助会負担金	生産振興担当	2,819,863	3,054,199	2,790,396	3,300,000	3,300,000	15,264,458	政策的業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
10	0106160	海外輸出販路開拓事業	マーケティング担当	6,458,747	2,154,250	3,017,020	40,000	40,000	11,710,017	政策的業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.18	
11	0106190	農産物等販路拡大事業	マーケティング担当	4,655,148	3,700,689	9,128,669	10,125,000	10,125,000	37,734,506	政策的業務	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.46	
12	0106210	豊科農産物加工交流センター運営事業	マーケティング担当	2,463,520	1,818,760	1,390,000			5,672,280	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	○
13	0106230	穂高農業活性化施設運営事業	マーケティング担当	10,990,392	9,880,038	9,796,770			30,667,200	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	○
14	0106240	三郷産地形成促進施設運営事業	マーケティング担当	474,282	1,704,282	474,282			2,652,846	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	○
15	0106260	堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業	マーケティング担当	8,722,694	7,997,538	5,884,598			22,604,830	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.2	○
16	0106270	明科農産物加工交流施設運営事業	マーケティング担当	2,836,178	3,406,418	2,836,178			9,078,774	施設の管理運営	継続	A	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	○

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	農業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	山崎岳志
評価者	農林部	部長	赤澤哲也

17	0106290	三郷やすらぎ空間運営事業	農業政策係	3,794,957	4,638,012	3,222,500			11,655,469	施設の管理運営	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.3	
18	0106300	コミュニティー施設運営事業	農業政策係	1,074,176	1,290,176	1,125,876			3,490,228	施設の管理運営	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.3	○
19	0106310	安曇野の里運営事業	農業政策係	24,775,530	20,927,610	19,135,186			64,838,326	施設の管理運営	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.3	○
20	0106320	安曇野の里改修事業	農業政策係	11,247,542	3,427,080	5,989,911	13,149,000	8,173,000	41,986,533	ハード(継続)	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.2	○
21	0106330	ファインビュー室山運営事業	農業政策係	540,000	2,667,500	660,000			3,867,500	施設の管理運営	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.5	○
22	0106340	ファインビュー室山改修事業	農業政策係	23,630,177	15,353,101	13,377,680	46,497,000	21,653,000	120,510,958	ハード(継続)	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.2	○
23	0106350	ほりで一ゆ〜運営事業	農業政策係	11,193,830	8,780,030	10,626,630			30,600,490	施設の管理運営	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.5	○
24	0106360	ほりで一ゆ〜改修事業	農業政策係	99,722,573	34,356,940	27,191,548	136,089,000	114,946,000	412,306,061	ハード(継続)	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.2	○
25	0106370	小倉多目的研修施設管理事業	集落支援担当	2,700,000	2,600,000	3,592,343			8,892,343	施設の管理運営	継続	B	事業の進め方の改善が必要	0.3	
26	0106380	農家民宿推進事業	マーケティング担当	3,066,651	3,355,194	3,487,368	2,946,000	2,946,000	15,801,213	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.34	○
27	0106390	市民農園事業	マーケティング担当	439,916	463,455	458,691	467,000	467,000	2,296,062	定型業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.13	
28	0106410	制度資金給付事業	集落支援担当	1,419,237	1,050,583	746,304			3,216,124	定型業務	継続	D	廃止(継続者が終了する令和16年度予定)	0.15	
29	0106430	担い手・集落支援事業	集落支援担当	16,215,511	16,666,184	12,912,007	24,795,000	24,795,000	95,383,702	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	1.18	
30	0106440	市農業再生協議会集落支援事業	集落支援担当	6,583,394	5,597,497	757,647	1,500,000	1,500,000	15,938,538	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.2	○
31	0106470	後継者育成事業	集落支援担当	41,271,798	38,540,698	42,110,137	36,668,000	34,538,000	193,128,633	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	1.29	
32	0106488	荒廃わさび田再生検証事業	集落支援担当	3,879,300	2,220,000	2,218,138			8,317,438	政策的業務	継続	B	事業の進め方の改善が必要	0.21	
33	0106490	荒廃農地解消事業	集落支援担当	7,859,000	4,219,000	3,590,000	2,000,000	1,000,000	18,668,000	義務・政策併用事業	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.43	
34	0106500	中山間地域直払事業	集落支援担当	17,417,050	18,028,006	15,555,376	18,144,000	18,144,000	87,288,432	義務・政策併用事業	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.78	
35	0106510	有害鳥獣防止対策事業	集落支援担当	6,447,972	6,128,813	4,574,370	4,957,000	4,957,000	27,065,155	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.93	
36	0106530	南農高校連携事業	マーケティング担当	457,639	278,844	97,260	396,000	396,000	1,625,743	定型業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.17	
37	0106540	農業塾等助成事業	マーケティング担当	436,000	441,400	320,000	450,000	450,000	2,097,400	定型業務	継続	B	事業の進め方の改善が必要	0.05	
38	0106560	畜産農家支援事業	生産振興担当	2,921,583	13,241,955	4,375,782	3,874,000	3,855,000	28,268,320	政策的業務	継続	A	現状のまま実施することが適当	0.5	
39	0106570	三郷堆肥センター運営事業	生産振興担当	25,925,000	28,256,449	15,800,000			69,981,449	施設の管理運営	継続	E	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.5	
合計				469,411,239	370,056,424	329,468,308	406,263,000	342,599,000	1,917,797,971						

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	農業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	山崎岳志
評価者	農林部	部長	赤澤哲也

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	第2次農業・農村振興基本計画の203件の実施施策について点検評価を行うとともに、令和4年度からの施行に向けて、第3次計画策定に向けて準備している。 その他、各種事業の補助事業等については、個別の事業内容について、行政が行うものか、個人、民間が行うべきものかを精査し、施策の中で必要な補助事業が見極めと、スクラップ&ビルドが必要と考えている。
重点化事務事業の考え方	①公共施設再配置計画を具体的に推進し、農業関連施設の総量を削減します。 ・主に検討、実行した施設「ほりで一ゆー四季の里」「ファインビュー室山」「穂高農村景観活用交流施設」「三郷総合営農センター」 ②市の農業振興ビジョンを示す第2次農業・農村振興基本計画は、令和3年度が最終年となることから、第2次計画の検証を行い、次期計画について改訂を進めます。 ③第2次農業・農村振興基本計画の改訂を進める中で、現行の補助制度を精査し、具体的な施策として計画に反映させます。
縮減・廃止事務事業の考え方	公共施設再配置計画を具体的に推進し、合併後においても数多く存在している農業関係施設の総量削減を目指す。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	高齢化等による農業離れ、農業後継者不足が進行する情勢ですが、帰農者、新規就農者は一定数生まれており、各事業の成果と考える。これらの就農者の育成、認定農業者・集落営農組織等の足腰が強い農業経営への支援を続けることにより各種事業の促進が図られると考える。 また、推進計画の実行組織である「市再生協議会」の組織形態の見直しにより組織のスリム化を図り、これにより、再生協議会が行う事業を明確にし、市が行う事業と区別を図った。

令和 2年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	水を活用した産業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	山崎岳志
評価者	農林部	部長	赤澤哲也

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市の根幹をなす農業とこれを担う魅力ある農村づくりを目指すため、平成23年度に安曇野市農業・農村振興基本計画を策定し、平成24年度に具体的な数値目標と実施施策を振興計画（アクションプラン）として策定しました。平成25年3月に安曇野市農業農村振興基本条例を制定し、同年8月に条例の規定に基づいて振興計画の実施状況の点検・評価並びに基本計画及び推進に必要な調査、提言が安曇野市農業農村振興計画推進委員会によって行われており、現在、第3次計画の策定に向け検証しているところです。
基本方針 (目指すべき方向性)	わさび栽培やニジマス養殖など、地下水や湧水を活用した産業の振興を図り、他産地との差別化に取り組みます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H30	H31	R 2	達成率	進捗状況	所管課
わさび栽培面積	ha	31.3	33.0	31.2	32.0	32	96.9	停滞	農政課
安曇野わさびの地理的表示 (GI) 取得数	件	0	1	0	0	0	0	停滞	農政課

施策指標の進捗状況と分析	「わさびの地理的表示「GI」所得」については、生産地が他の産地と区別化できないことから困難な状況です。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H30	H31	R 2	R 3	R 4	合計	事業区分	新/継	総合評価	方向性	正規職員数	
1	0106850	水産資源拡大補助事業	生産振興担当	185,000	185,000	185,000	185,000	185,000	925,000	政策的業務	継続	C	事業効果を高めるための方策を検討	0.1	
合計				185,000	185,000	185,000	185,000	185,000	925,000						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	新型コロナウイルスの影響があった「わさび」生産者に補助金等を交付し生産者を支援した。GIは、産地として登録が困難な状況から指標の見直しを検討する必要がある。